

# 八清親和会 自治会役員の一とり言

平成30年3月4日

No6

八清親和会 副会長

吉田祐治

3月1日(木) 町会・自治会の「地域の課題解決プロボノプロジェクト 成果報告会」に参加して来ました。これは、平成29年度東京都が町会・自治会を支援するために新たに行っている活動です。昭島自治会連合会を通じて情報を得て参加して来ました。目的は、八清親和会の自治会活動をさらに良くするためのアイデアとヒント探しです。

初年度のため応募は8団体でしたが、その活動、成果報告でした。発表方法は、プロボノ責任者より活動・成果の概要報告がパワーポイントであり、引き続きジャーナリストの堀潤氏の総合司会により、8団体のチームリーダーが活動テーマの取り組み動機や体験、成果、感想などを話す実践報告会でした。

前半は「情報発信を強化する」をテーマにした、4つの自治会発表  
後半は「住民のニーズに応える」をテーマにした、4つの自治会・自治会連合会発表で、印象に残った発表の一例を紹介します。

## 三鷹市 井の頭一丁目町会チーム (リーダー 女性)

### ◆テーマ：「マーケティング基礎調査」

みんなのブックカフェ(赤ちゃんとママの会シニアヨガなどの多世代交流の場)、麻雀・囲碁・将棋の会、落語を聞く会等「交流の場づくり」防災を考える会を中心とした「災害に強いまちづくり」、「安全安心パトロール」、学童保育の子どもたちの「見守り活動」など、近年、町会活動が活発化している。この活動をさらに発展させ、より幅広い住民参加につなげる広報のあり方を検討するため、住民へのニーズ調査を行った。

### ◇成果物について

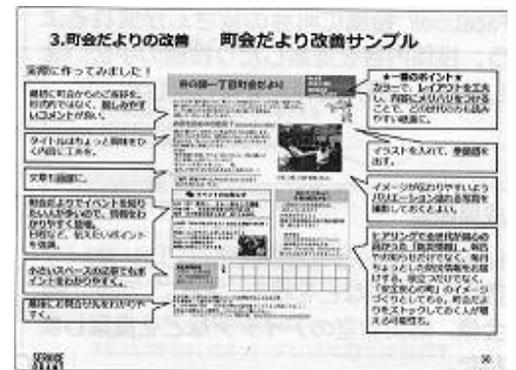
プロジェクト開始前は、ウェブサイトを活用する必要性が考えられていたが、しかし、調査からウェブサイトへのニーズが低いことが分かった。一方で、掲示板の価値を再認識する結果になった。そこで、掲示板そのものや掲示するチラシの見直し、回覧板などの連動方法等を検討すると共に、町会の皆さん自身が情報を更新しながら運用できるような、チラシや入会案内のフォーマットを作成した。さらに、住民と共に運営していくイベントの企画提案も行った。

### ◇活動ポイント

- ・女性リーダーのもと未就学児のいる若いママさんを含む15名の運営委員で活動、未加入住民へのアンケートは、ノルマを設け女性中心に行った結果大成功。
- ・会員に「プロボノ」に参加したことが伝わり自治会としての地域の課題解決の取り組みの本気度が伝わった。



井の頭一丁目町会チーム



## 大田区 大森本町北町会チーム

### ◆テーマ：「業務フロー設計」

首都直下型地震に備え、地域防災の会議や訓練などを重点課題として取り組んでいる。

災害時に備え、支援が必要な人が町内にどれくらいおり、どのような支援が求められているかを把握するために、情報収集・蓄積に必要な作業のフローを整理し、フロー



大森本町北町会チーム

を実行可能なものとするために、重要度が高い、具体的な資料・書式等を作成した。

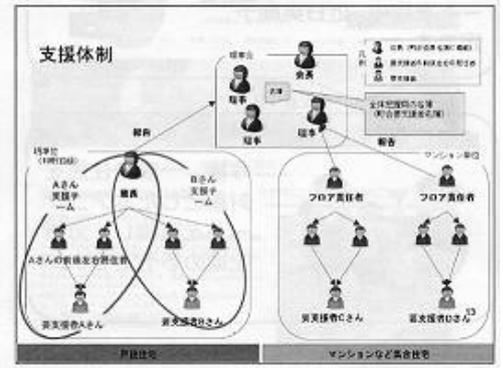
(災害時要援護者支援名簿に関連)

◇成果物について

まず、現状調査や他団体の事例をもとに、作業の優先度や必要なツール確認、具体的に、町会内の要援護者名簿、救急医療情報キット、支援チームの編成等を提案した。これらの活動を展開していくため、一般向けの案内文書や要支援者名簿作成に関する業務のフロー図等、すぐに実行に移していけるような資料・書式等を提供した。

◇活動ポイント

- ・今までは、災害時要援護者支援名簿を渡されるだけで会長・民生委員しか知らない。避難所訓練など今まで何も対応していない、これでよいのか。



足立区町会・自治会連合会チーム



小竹町会チーム



北新宿二丁目町会チーム



高島平七丁目町会チーム

■ アンケート集計後の感想

- 広報でやるとよさそうなこと
  - 広報手段の多様化
  - 行事の告知、行事の面白いところを伝える
  - 印刷物の配布方法、印刷物の状態確認
  - 掲示物の掲載基準明確化と掲示物の告知
- 行事でやるとよさそうなこと
  - 集客力のある行事（金沢祭り）での加入呼びかけ
  - 趣向と役割を限定、明確にした趣向の呼びかけ
- 活動活動でやるとよさそうなこと
  - 加入きっかけの多い自治会メンバーへのアプローチ
  - 加入手続きのハードルを下げる（はがき・ネット申込等）
  - 町会費支払いのハードルを下げる（カード払い、自動引き落としほか）

みなさんのお話合いのきっかけにしていれば幸いです



北千束中自治会チーム

(3) リーダー報告の中からポイントとなった内容は、

- (a) 会員に自治会活性化取り組みの真剣度が伝わった。
- (b) アンケートは、対面手渡しでやらないと、書いてもらえない、回収できない。また、アンケートの願いは、女性の協力者でないとなら成果が上がらない。

(4) 感想

- (a) テーマだけを見ると単純ではあるが、取り組みの切り口や活動は、サポートメンバーが若いため、従来の自治会メンバーだけのありふれた考え方の殻を破り、斬新な発想や考え方を取り入れ、活動してきたことが分かる。
- (b) 今回発表の8団体中、3団体のリーダーが中核の女性であったこと、また2つのチームに幼児を連れた若いママさんが入っていることに目を疑った。当日会場にも来ていた。どのようにして参加してもらったのか、八清親和会としても参考にしたい。
- (c) 八清親和会としても、5年間「自治会の再活性化」に取り組んできたが、まだまだ、取り組みの切り口や、気が付かない発想や、考え方等、修得に値する内容が多くあり非常に勉強になった。今後いかにこれらの良いところを取り込んでいくか、早速行動に移したい。

(5) 最後に、自治会が自力で取り組み、解決するマンパワーやアイデアがなければ、この外部の力を借り、取り組むことが必要と思う。そしていかにして若い世代の人を取り込むかである。以上自治会役員のひとり言でした。

以上